



雪国のイメージに反する大きな屋根がポイントです



引き継がれるディテール



平屋の特性でもある、全ての部屋の下にある基礎を生かし、床下で空調をする事により、建物全体を20℃前後の温度で一定にする。このケースでは、温水ファンヒーターを用いて、ガス熱源とし、通常エアコンよりもパワーのある機械を設置している。建物全体は高气密としている。玄関などのポイントで少し孔を空ける事により、通常玄関からの寒い空気がくるペリメーターゾーンが寒くなるのをコントロールする。通常温水床暖房に比べ、床の温度は高くないが、空調機のエリアも限定しない、高齢者配慮の全館空調的な考え方の空調システムとしている。



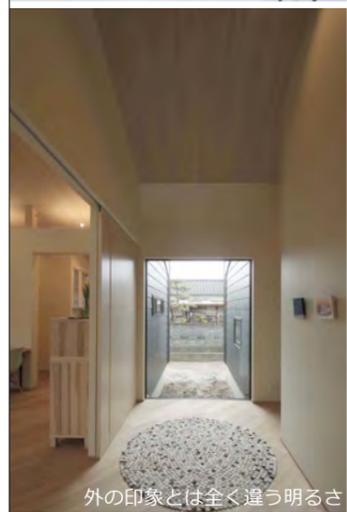
建物全体をガルバリウムで覆っています



引き継がれる建物が見える



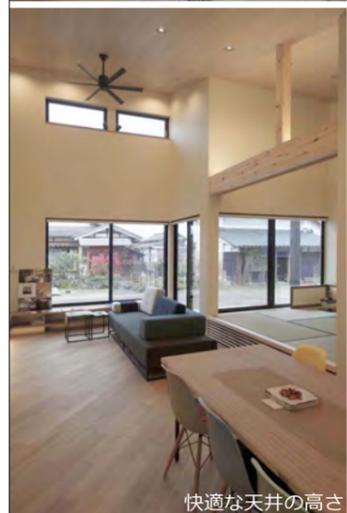
引き継がれる建物



外の印象とは全く違う明るさ



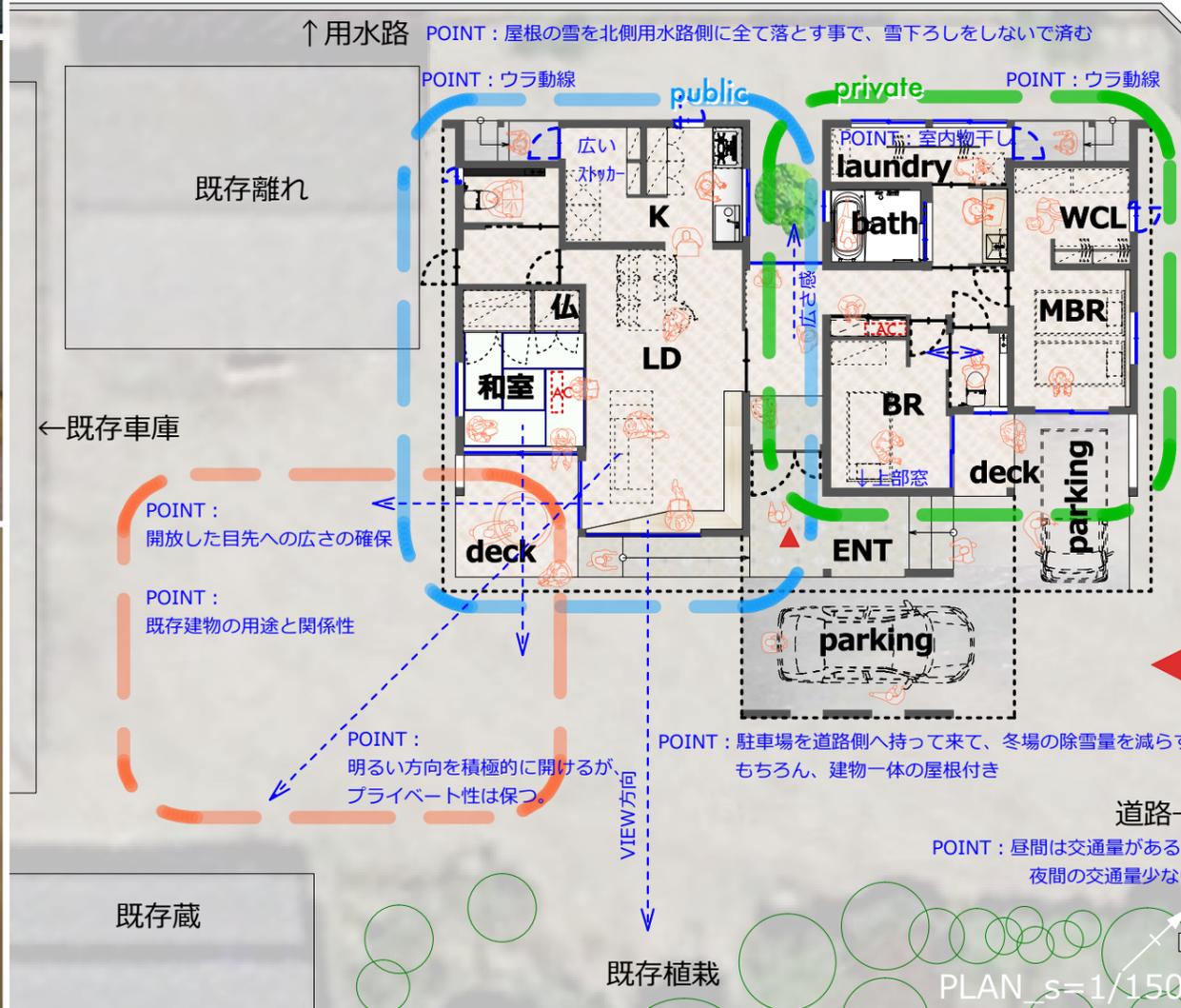
斜め天井でアクティブな空間



快適な天井の高さ



必要な広さのみ確保



部門：建築作品部門

カテゴリ：⑤その他（農家の新しい形）

タイトル：大きな屋根の家

（これからの高齢者兼業農家の
快適な住まい）

概要：

新潟県新発田市の江戸時代中期から今も小さく兼業農家を営む、60.70代夫婦とその母の終の家の計画。雪国・農家ならではの動線を熟考し、使いやすさはもちろん、将来的にもメンテナンスを出来るだけ減らす事を目標とした。減築が目的の一つでもあった為、天井を高くする事で狭さを感じさせない様にしている。建物全体を高气密とし、床下暖房をする事で建物全体が暖くなる様、採暖の仕方に工夫をしている。間取りとしては、玄関で左右にパブリックとプライベートが分離されるプラン。内装は若々しく暮らす事をテーマに。パブリック部分は、近所人との距離や関係性に変わりがない用に縁側的なデッキを作り近所の人との距離も変わらない様にした。プライベート部分は、高齢になっていく住まい手が快適に生活出来る余裕をもって生活できる作りを目指した。

応募者



木原 力（代表者）・後藤 栄子
株式会社トウイズムデザインスタジオ一級建築士事務所
110-0001東京都台東区谷中6-3-3
tel:03-5842-1626 hp:tw-ism.com/
mail:twism@tw-ism.com